

# ペアマルチ® EA

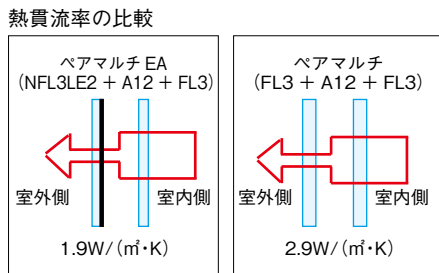
日射  
取得型

室外側ガラスにコーティングしたLow-E膜が、室内の暖房熱は外に逃がさず、日射熱を室外へ適度に反射させるペアマルチEA。冬の暖房効果、夏の冷房効果を高めて快適に過ごせるだけでなく、透明で自然な色合いで、明るい空間づくりに最適です。

## 特長

### 1 高断熱性

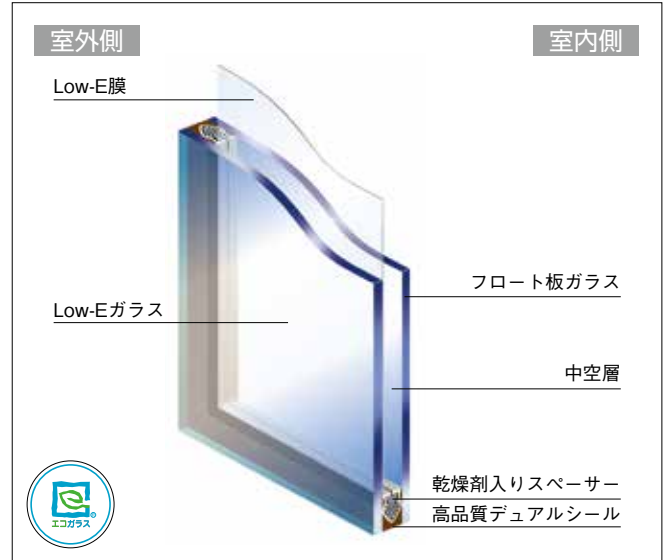
ペアマルチEAの断熱性能は、Low-E膜と中空層の効果でフロート板ガラスの約3.1倍、一般複層ガラスペアマルチの約1.5倍と高く、室外に逃げる熱が少ないので、暖房負荷の軽減に効果的です。



### 2 結露軽減

室内と室外に大きな温度差ができることで、ガラス面に結露が発生することがあります。ペアマルチEAはLow-E膜と中空層による優れた断熱性能によって室内側のガラスの表面温度が下がりにくいため、一般複層ガラスペアマルチと比較してもさらに結露軽減効果に優れています。

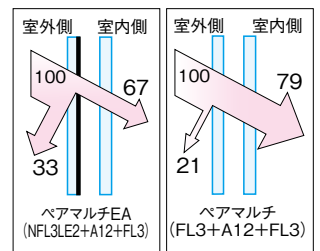
ペアマルチ EA 構造図



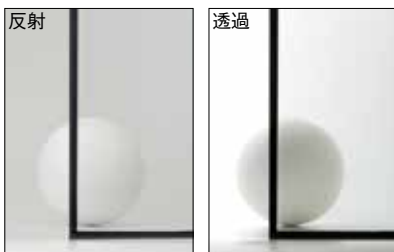
### 3 快適な室内環境

冬、暖房をしても暖かいからだの表面から窓ガラス付近の冷気に熱を奪われ寒く感じる「冷輻射」や、足元が冷え冷えする「コールドドラフト現象」をやわらげ、快適な室内環境が得られます。

日射熱取得率の比較



## カラーサンプル



クリア系

クリア系

※この色調見本は印刷のため実際の色と多少異なります。ご採用の際にはサンプルによるご確認をおすすめします。撮影条件はP.203をご参照ください。

### ●品種表

品 種	構成品種			最大寸法 (mm)	最小寸法 (mm)
	室外側ガラス	中空層	室内側ガラス		
ペアマルチEA	Low-E3	+ A +	FL3	2,400×1,600	350×200
	Low-E4	+ A +	FL4		
	Low-E5	+ A +	FL5		
	Low-E6	+ A +	FL6	3,200×2,300	
	Low-E8	+ A +	FL8	4,470×2,300	
	Low-E10	+ A +	FL10	4,450×2,300	
	Low-E12	+ A +	FL12	4,060×2,300	

【表中の記号】 Low-E:Low-Eガラス FL:フロート板ガラス A:中空層

※サッシの溝幅によっては呼び厚さの制限を受けるため、中空層の厚さを調整することができます。

※最大寸法の範囲であっても中空層(A)の厚さによって面積制限があります。詳しくはP.167「設計・施工・使用上に関するご注意」をご参照ください。

※ご使用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を選定ください。

※上記以外の仕様についてはお問い合わせください。

※Low-Eガラス8・10・12ミリの3,200×2,300mmを超えるサイズの在庫については、事前にお問い合わせください。

### ●性能表

データ算出のための諸条件はP.180をご参照ください。

品 種	品種略号 構成品種			呼び厚さ (ミリ)	光 学 的 性 能									熱 的 性 能		結露の 発生する 外気温度 (°C)※1
					可 視 光			日 射			紫 外 線			熱貫流率 W/(m²・K)	日射熱取得率 η	
					透過率 (%)	反射率(%) OUT	反射率(%) IN	透過率 (%)	反射率(%) OUT	反射率(%) IN	吸収率 (%)	透過率 (%)				
ペアマルチEA	NFL3LE2	A 6	FL3	12	75.5	15.9	17.3	61.2	14.8	24.1	44.8	2.7	0.67	-6		
	NFL3LE2	A12	FL3	18	75.5	15.9	17.3	61.2	14.8	24.1	44.8	1.9	0.67	-17		

※本表の数値は光学的及び熱的性能を示す一般的数値であり、各製品の性能を保証するものではありません。

※1 結露の発生する外気温度の算出条件:室内温度20°C、室内相対湿度60%、室内自然対流、戸外風速3.5m/sの場合

# ペアマルチ® EA 寒冷地タイプ

日射  
取得型

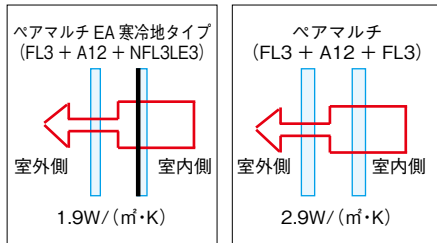
ペアマルチEA寒冷地タイプは、室内側ガラスにコーティングした高断熱Low-E膜が日射熱を採りこみながらも、室内の暖房熱は外に逃がさないため、冬の寒さが厳しい地域に最適な低放射複層ガラスです。さらに、透明で自然な視界を確保できるので、明るく大きな室内環境づくりが可能です。

## 特長

### 1 高断熱性

ペアマルチEA寒冷地タイプの断熱性能は、Low-E膜と中空層の効果でフロート板ガラスの約3.1倍、一般

熱貫流率の比較

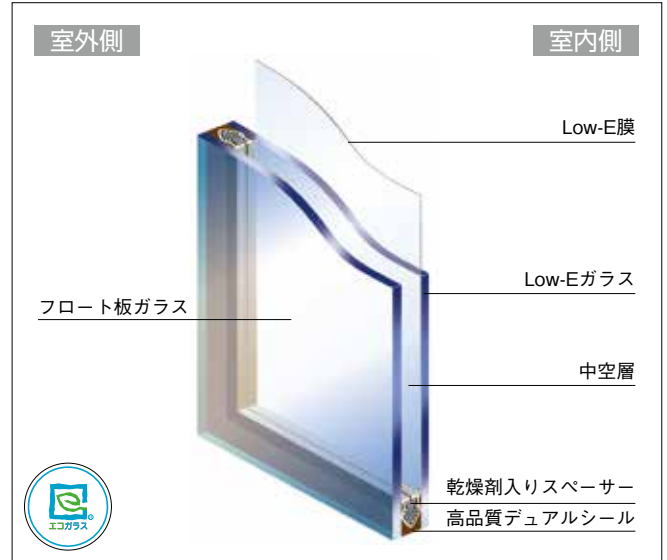


複層ガラスペアマルチの約1.5倍と高く、室外に逃げる熱が少ないので、暖房負荷の軽減に効果的です。

### 2 結露軽減

室内と室外に大きな温度差ができることで、ガラス面に結露が発生することがあります。ペアマルチEA寒冷地タイプはLow-E膜と中空層による優れた断熱性能によって室内側のガラスの表面温度が下がりにくいため、一般複層ガラスペアマルチと比較してもさらに結露軽減効果に優れています。

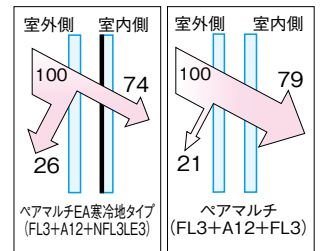
ペアマルチ EA 寒冷地タイプ構造図



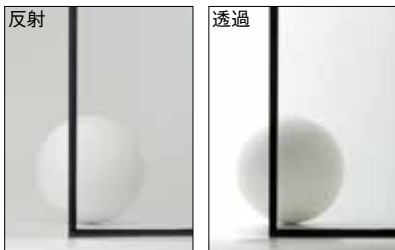
### 3 快適な室内環境

冬、暖房をしていても暖かいからだの表面から窓ガラス付近の冷気に熱を奪われ寒く感じる「冷放射」や、足元が冷え冷えする「コールドドラフト現象」をやわらげ、快適な室内環境が得られます。

日射熱取得率の比較



## カラーサンプル



クリア系

クリア系

※この色調見本は印刷のため実際の色と多少異なります。ご採用の際にはサンプルによるご確認をおすすめします。撮影条件はP.203をご参照ください。

### ●品種表

品 種	構成品種			最大寸法 (mm)	最小寸法 (mm)
	室外側ガラス	中空層	室内側ガラス		
ペアマルチEA 寒冷地タイプ	FL3	+ A +	Low-E3	2,400×1,600	350×200
	FL4	+ A +	Low-E4		
	FL5	+ A +	Low-E5		
	FL6	+ A +	Low-E6	3,200×2,300	
	FL8	+ A +	Low-E8	4,470×2,300	
	FL10	+ A +	Low-E10	4,450×2,300	
	FL12	+ A +	Low-E12	4,060×2,300	

【表中の記号】 Low-E:Low-Eガラス FL:フロート板ガラス A:中空層

※サッシの溝幅によっては呼び厚さの制限を受けるため、中空層の厚さを調整することができます。

※最大寸法の範囲であっても中空層(A)の厚さによって面積制限があります。詳しくはP.167「設計・施工・使用上に関するご注意」をご参照ください。

※ご使用にあたっては、耐風圧強度、熱割れなどをご検討のうえ、ガラス品種・呼び厚さ・面積を選定ください。

※上記以外の仕様についてはお問い合わせください。

※Low-Eガラス8・10・12ミリの3,200×2,300mmを超えるサイズの在庫については、事前にお問い合わせください。

データ算出のための諸条件はP.180をご参照ください。

### ●性能表

品 種	品種略号 構成品種			呼び厚さ (ミリ)	光 学 的 性 能							熱 的 性 能		結露の 発生する 外気温度 (℃)※1
					可 視 光			日 射			紫外線 透過率 (%)	熱貫流率 W/(m²·K)	日射熱取得率 η	
					透過率 (%)	反射率(%) OUT	IN	透過率 (%)	反射率(%) OUT	吸収率 (%)				
ペアマルチEA 寒冷地タイプ	FL3	A 6	NFL3LE3	12	75.5	17.3	15.9	61.2	16.5	22.3	44.8	2.7	0.73	-6
	FL3	A12	NFL3LE3	18	75.5	17.3	15.9	61.2	16.5	22.3	44.8	1.9	0.74	-17

※本表の数値は光学的及び熱的性能を示す一般的数値であり、各製品の性能を保証するものではありません。

※1 結露の発生する外気温度の算出条件: 室内温度20℃、室内相対湿度60%、室内自然対流、戸外風速3.5m/sの場合

関連項目

■ガラスを安全にお使いいただくために⇒ P.6 ■標準施工⇒ P.154 ~ P.160 ■光学的・熱的性能⇒ P.182  
■最大・最小受注寸法⇒ P.191 ■設計・施工・使用上に関するご注意⇒ P.167・P.168



●江崎グリコ 本社(大阪)  
 設計:安井建築設計事務所  
 施工:竹中工務店  
 写真提供:安井建築設計事務所



●金沢港クルーズターミナル(石川)  
 設計:浦建築研究所  
 施工:豊蔵組・北川ヒューテック・高田組・ムラジ建設 JV  
 写真提供:石川県観光連盟



●新サンケイビル建替えプロジェクト  
 【西梅田サンケイビル】(大阪)  
 設計:竹中工務店  
 施工:竹中工務店  
 写真提供:竹中工務店